



ご挨拶

本日は「A-Winds 9 2002年夏の演奏会」にお越し頂き誠にありがとうございます。
「こころ豊かな文化の香り高き町：大和郡山市」に昨年6月にオープンしたこの「やまと郡山城ホール」で本日3回目の演奏会を開催し、音楽を通して皆様方とこうしてお逢いする機会を持つ事ができましたことにA-Winds一同、心より感謝しております。

県内にはアマチュア吹奏楽団が数多くあり、個々の活動は中学校や高校をも凌ぐほど熱心で盛んであります。その文化に恵まれた環境に生まれ、我々A-Winds奈良アマチュアウインドオーケストラは、1999年10月に新しい吹奏楽団として誕生しました。発足と同時に活動を始めて以来、1999年12月の「デビュー演奏会」を初めに、3年足らずの間に8回の演奏会を開催し、おかげ様をもちまして団員も50名に成長することができました。これも、皆様方のご指導、ご支援あっての事と厚く御礼申し上げます。

さて、我々の正式名称は
「A-Winds奈良アマチュアウインドオーケストラ」です。

この「アマチュア」という表現がとても気に入っています。
がむしろに、ひたむきに互いに仲間を信頼しあい、何事にも臆せず、ただひたすらチャレンジし続けることが、とても自分にあってるし、それにこれはアマチュアだから出来ることだと思うからです。また、既にご存知の方もおられるかと思いますがA-Windsは最少人数の吹奏楽=ウインドアンサンブルを志向しております。演奏面は勿論のこと、運営面も含む活動全般において、団員一人ひとりが常に『主人公』であり自分の代役は自分しかできないという意識のもと「責任」を感じ、「やりがい」に酔いしれて未来への熱き想いを抱きそれを叶えるべくいきいきとした吹奏楽団を目指し日々活動に取り組んでおります。

創団2年を数え、団員一同更に心一つにし、アマチュアらしく今出来る精一杯の音楽活動に取り組んでいく想いに胸を膨らませ、本日素敵な演奏会になるよう思いを込めて団員を代表しまして今の心境を一句詠ませていただきます。

夏の宴 余韻肴に もう一献

今後とも、暖かいご指導、ご支援の程、宜しく願いいたします。

団長 魚谷昌克

本日は、お忙しい中「A-Winds 9 2002年夏の演奏会」にご来場いただき誠にありがとうございます。



A-Windsでは、前回までで8回の演奏会を行ってきましたが、歴代の実行委員長は全て男性が行っており、今回初めて私 女性の佐藤由加里が実行委員長をさせていただきました。

演奏会が終わった後にA-Winds 9は、実行委員長が女性だから・・・と思っていたような演奏会を感じていただけたらと思っております。



水無月(6月)も今日で最終日となり、明日からは、文月(7月)です。
本格的に『夏』到来！です。

さて、皆さま『夏』といえば・・・で連想されるものは何でしょうか？
私の中で連想されるものは〈お祭り〉〈かき氷〉〈ひまわり〉〈すいか〉〈夏休み〉
とまあ、本当に単純なものしか浮かばないのですが、この夏の演奏会では、その、『夏』をテーマに構成してみました。

第一部は、今年度の吹奏楽コンクールの中から1曲そして、今、ワールドカップ開催ということで日本中が盛り上がっているところ、A-Windsでも～サッカーワールドカップ日韓共催記念～と題し「アリアン」を題材に作成されたプログラムをお届けします。

第二部は、「祭り」をイメージしたプログラムをご用意しております。祭りといっても国々によって全く趣きがありますが、今回は、スペイン、中南米のお祭り音楽を取り上げてみました。特に「ジャマイカ民謡組曲」では、どこかで聞いたようなメロディがいくつか登場します。今回は、吹奏楽の温かいサウンドでお楽しみください。



最後に皆様方に少しでも心なごむ音楽をお届けできれば幸いです。

演奏会実行委員長 佐藤 由加里



2002年 夏の演奏会



2002.6.30(日) 14:00開演

やまと郡山城ホール大ホール

主催 ● A-Winds奈良アマチュアウインドオーケストラ

後援 ● 大和郡山市 大和郡山市教育委員会 奈良県吹奏楽連盟

A-Winds奈良アマチュアウインドオーケストラ ● 1999年10月、古都奈良に誕生した新しいアマチュア吹奏楽団です。「A-Winds(エー・ウィンズ)」の「A」は「アマチュア(Amateur)」の「A」であり、アマチュアならではの音楽づくりを追求することを標榜しています。演奏者一人一人の音楽づくりを演奏に反映できる、管打楽器アンサンブルの延長上としての最小人数の吹奏楽=ウインドアンサンブルを指向し、また、吹奏楽の特性を最大限に発揮できる吹奏楽オリジナル曲を中心に取り上げていくことを活動方針としています。

<http://www.interq.or.jp/classic/a-winds/home.htm>



プログラム

指揮●吉崎直之(客演)

クリフтон・ウィリアムズ Clifton Williams
ファンファーレとアレグロ **Fanfare and Allegro**

高 昌帥 Chang Su KOH
吹奏楽のためのラメント **LAMENT for Wind Orchestra**

和田 薫 Kaoru WADA
吹奏楽のための「天地人」 **"TEN-CHI-ZIN" for Symphonic Band**

ジョン・バーンス・チャンス John Barnes Chance
朝鮮民謡の主題による変奏曲 **Variations on a Korean Folk Song**

指揮●魚谷昌克(団員)

クリフтон・ウィリアムズ Clifton Williams
交響的舞曲第3番「フェスタ」 **Symphonic Dance No.3 "FIESTA"**

ハロルド・L・ウォルターズ Harold L. Walters
ジャマイカ民謡組曲 **Jamaican Folk Suite**

1. メント (Ment)
2. プロムナード (Promenade)
3. ジャンプ・アップ (Jump-up)

H・オーウェン・リード H. Owen Reed
メキシコ民謡による交響曲「メキシコの祭り」 **A Mexican Folk Song Symphony for Concert Band**

1. 前奏とアステック・ダンス (Prelude and Aztec Dance)
2. ミサ (Mass)
3. カーニヴァル (Carnival)

Program



プログラム・ノート

ファンファーレとアレグロ / クリフトン・ウィリアムズ (1923-1976)

この曲は、ABAオストワルド賞という吹奏楽での名誉ある賞の第1回目の受賞作品です。曲の構造はタイトルが示している通りで、冒頭の打楽器とトランペットによる高貴なファンファーレから終結部の激しいクライマックスまで、聴く者を飽きさせません。

吹奏楽のためのラメント / 高 昌帥 (1970-)

タイトルの「ラメント」とは、死者を悼むための音楽、悲歌、挽歌、嘆きの歌といった意味の音楽用語です。曲は終始一貫して遅いテンポで、時には感情を昂揚させるように激しく、また時には思いを殺すかのように静かに流れて行きます。

吹奏楽のための「天地人」 / 和田 薫 (1962-)

この曲の原曲は、「交響連詩「九州」 / 天地人～交響管弦楽のための～」という管弦楽作品で、のちに作曲家自身によって吹奏楽版に書き下ろされました。内容は、九州各地の芸能や民謡、古謡や風俗習慣などを素材としていますが、それらを具象化せずイメージとして表現しています。平和の尊さ、自然の壮絶さ、雄大さ、人のエネルギーの豪快さ、このように自然と共にある九州人の生命力がこの作品のテーマとなり、それがタイトルにある「天～運命」「地～自然」「人～人間の生」を表しています。

朝鮮民謡の主題による変奏曲 / ジョン・バーンス・チャンス (1932-1972)

朝鮮半島の民謡「アリラン」は、元来は労働の歌、大勢が力を合わせる時のかけ声でもあり、労働の苦しさをまぎらわせるための歌だったといわれています。そして現在まで歌い継がれてきたアリランは、男女の愛、別離、祖国と郷土に対する讃歌、社会に対する憤りなど、あらゆる朝鮮民衆の喜怒哀楽を即興的に歌われ、各地に広がり伝わっていったもので、歌った人の数だけ歌詞があるといわれています。

交響的舞曲第3番「フェスタ」 / クリフトン・ウィリアムズ (1923-1976)

この曲を含む「交響的舞曲」の原曲は全5曲からなる管弦楽作品で、作曲者がフレンチ・ホルン奏者として所属していたテキサス州にあるサンアントニオ交響楽団の委嘱により作曲され、後に作曲

Program Note

者自身によって吹奏楽版に書き下ろされました。もとの5曲の中の第3番目の曲がこの「フィエスタ」で、古くから中南米との交易で栄えてきたサンアントニオ市の、市民にしっかりと根付いているメキシコ風の祭りや興奮と色彩とを再現した作品となっています。

ジャマイカ民謡組曲 / ハロルド・L・ウォルターズ (1919-)

原住民が「ザイマカ」(Xaymaca) (木と水の大地)と呼ぶ常夏の楽園ジャマイカは、白い砂浜の美しいカリブ海や、霧に包まれ霞がかかったように青い亜熱帯森林の山々など大自然に恵まれ、世界中から注目されているリゾート地です。この曲は、題名どおりジャマイカの民謡をいくつか入れて組曲にしたもので、「メント」「プロムナード」「ジャンプ・アップ」の3曲から成っています。

メキシコ民謡による交響曲「メキシコの祭り」 / H・オーウェン・リード (1910-)

中南米の最北部に位置するメキシコ合衆国は、豊かな大自然に育まれた陽気な国で、また、国土の各地に古代文明の大遺跡が点在し、世界遺産の宝庫としても知られています。メキシコの民族舞踊には、先住民の伝統が色濃く残るもの、スペインの影響が見られるものなど、地域ごとそれぞれの特色があります。各地域の祭りで踊られるダンスは、その土地(教会)守護聖人への奉納のためのものであり、また、村とその教会の数だけ祭りが存在するため、毎日どこかの村や町で祭りが行われています。この曲は、作曲家自身による現地研究の成果としてまとめられたウインド・バンドのための交響曲で、次の3つの楽章から成っています。

第1楽章「前奏とアステック・ダンス」;祭りは真夜中に打ち鳴らされる教会の鐘の音から始まります。花火の爆音、高なるファンファーレ、人々は次々と集い、振る舞い酒が酌み交わされ、馬鹿騒ぎが始まります。早朝の眠気もこの騒ぎに吹き飛ばされ、やがて遠くから村の楽隊による闘牛場の音楽の「エルトロ」が聞こえてきます。そして、メキシコのグアタハラ地方に伝わるアステック族の踊りが始まると、祭りの気分はいよいよ盛り上がっていきます。

第2楽章「ミサ」;教会の鐘の音に始まるこの楽章は、敬虔な祈りの楽章です。外の騒動とは別に、教会の中では多くの人々によって聖母マリアを讃える大きな祈りが捧げられます。ミサで使われる讃美歌は、チャバラ地方でよく歌われるグレゴリオ聖歌「リベル・ウサリス」からとられたものです。

第3楽章「カーニヴァル」;ふたたび舞台は町の中へ。今や祭りは最高潮で、サーカス、闘牛、市場からのざわめきや華やかな楽隊のファンファーレなどで街中が沸き返っています。マリアッチが「ラ・ネグラ」の調べを演奏し、素晴らしい興奮が聴く者をクライマックスへと運んでいきます。



メンバー

ピッコロ/Piccolo
佐藤 由加里/Sato Yukari

フルート/Flute
佐藤 司/Sato Tsukasa
魚谷 陽子/Uotani Yoko
延澤 優子/Nobezawa Yuko

オーボエ/Oboe
上嶋 悠子/Uejima Yuko
中村 紘子/Nakamura Hiroko

クラリネット/Clarinet
in Eb
長尾 恭子/Nagao Kyoko

in Bb
畑澤 淳子/Hatazawa Atsuko
初岡 ゆき/Hatsuoka Yuki**
石田 契子/Ishida Keiko
大江 奈々/Ohe Nana
福田 彩/Fukuda Aya
佐々木 博幸/Sasaki Hiroyuki
辻 美保/Tsuji Miho
植田 洋美/Ueda Hironi
竹村 明恵/Takemura Akie

Alto(in Eb)
大西 晴巳/Ohnishi Harumi
Bass(in Bb)
荒木 英夫/Araki Hideo*

バスーン/Bassoon
萱原 美華子/Kayahara Mikako

Member

サクソフォン/Saxophone

Alto(in Eb)
小川 陽子/Ogawa Yoko
近藤 剛/Kondo Tsuyoshi
Tenor(in Bb)
初岡 和樹/Hatsuoka Kazuki**
伊藤 耕平/Itoh Kohel*
Baritone(in Eb)
奥田 ひろみ/Okuda Hironi**
小島 雅之/Obata Masayuki*

ホルン/Horn

小川 貴子/Ogawa Takako
日置 澄人/Hioki Sumihito
佐伯 直人/Saeki Naoto
久野 耕三/Kuno Kozo
次田 哲平/Tsugita Tepper**

トランペット/Trumpet

魚谷 昌克/Uotani Masakatsu
大西 伸幸/Ohnishi Nobuyuki
国元 昌広/Kunimoto Masahiro
表 恭子/Omote Kyoko
吉川 茂宏/Yoshikawa Shigehiro
篠木 章江/Shinoki Akie

トロンボーン/Trombone

田口 秀雄/Taguchi Hideo
萱原 淳嘉/Kayahara Atsuyoshi
上田 純子/Ueda Junko
水谷 匡希/Mizutani Masaki
中井 麻記子/Nakai Makiko

ユーフォニアム/Euphonium

大西 善郎/Ohnishi Yoshio
中村 雅美/Nakamura Masami

チューバ/Tuba

吉村 大介/Yoshimura Daisuke
平野 幸子/Hirano Sachiko*
卜田 真一郎/Shimeda Shin-ichiro*

パーカッション/Percussion

河津 雅之/Kawatsu Masayuki
平井 晶/Hirai Aki
下村 智子/Shimomura Tomoko
板垣 麻子/Itagaki Asako
辻 歩/Tsuji Ayumi
寺西 剛/Teranishi Takeshi*

鍵盤楽器/Keyboard

辻 歩/Tsuji Ayumi*

ステージマネージャー/Stage Manager

河村 穰香/Kawamura Yutaka

*=エキストラ ☆=休団



お知らせ

●団員の募集

<楽 件>・A-Windsの活動趣旨(ウインドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方
・自分で楽器が準備できる方
・全ての活動に積極的に参加できる方

<パート>バスクラリネット、ファゴット
コントラバス、パーカッション
ピアノ、ステージマネージャー

各1名

<E-mail>a-winds@classic.interq.or.jp